

スギ花粉症でお悩みの方へ

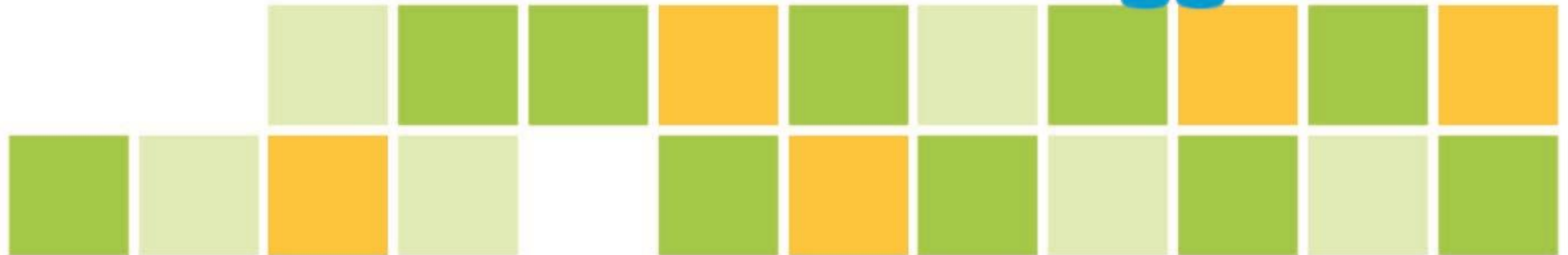
よくわかる

ぜ っ か め ん え き り ょ う ほう

スギ花粉症の舌下免疫療法

監修：

日本医科大学大学院医学研究科 頭頸部・感覚器科学分野 教授
大久保 公裕 先生



鳥居薬品株式会社

CONTENTS

- はじめに～スギ花粉症にお悩みの方へ～
- スギ花粉症とは
- スギ花粉症の割合
- スギ花粉症が及ぼす影響
- 代表的な花粉症原因植物の開花期
- スギ花粉症の診断
- スギ花粉症の治療
- アレルギー免疫療法とは
- アレルギー免疫療法の種類
- スギ花粉症の舌下免疫療法
- 服用方法の例
- 服用時に避けること
- 効果を発現するメカニズム
- 期待できる効果
- 副作用
- 舌下免疫療法をご希望の方へ
- WEBサイトでも解説しています



はじめまして！
トリーです。

はじめに～スギ花粉症にお悩みの方へ～

スギ花粉症は、主にくしゃみ、鼻水、鼻づまり、目のかゆみなどのつらいアレルギー症状を伴い、その症状によって日常生活のさまざまな場面で影響を及ぼすことがわかっています。



スギ花粉症の治療法のひとつに、アレルギー免疫療法めんえきりょうほうがあります。これまでのスギ花粉症に対するアレルギー免疫療法ひかは皮下に注射する「皮下免疫療法ひか めんえきりょうほう」だけでしたが、最近では、舌の下で治療薬を保持する「舌下免疫療法ぜっか めんえきりょうほう」のお薬が登場し、自宅で服用できるようになりました。

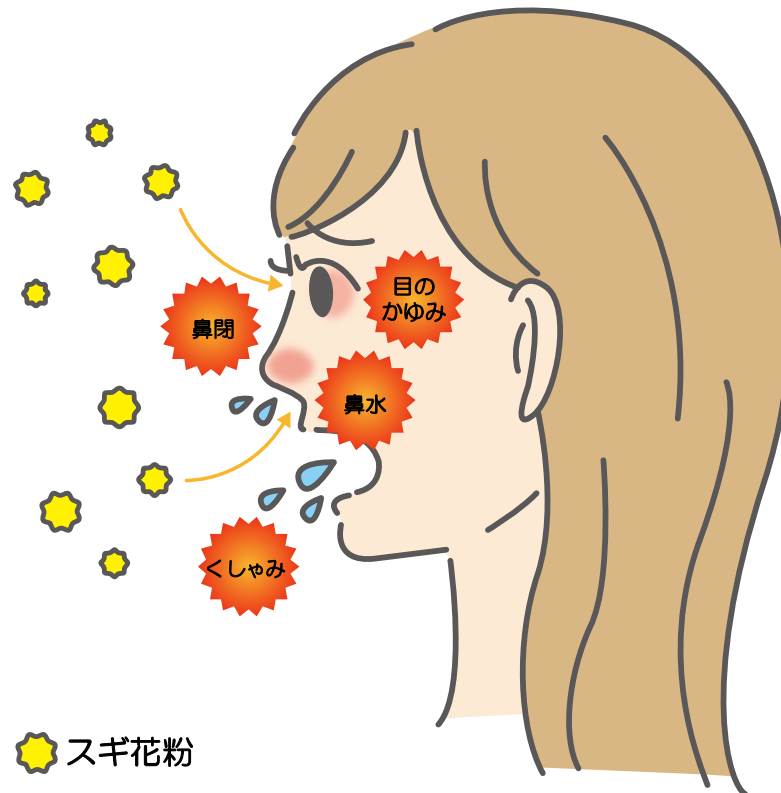


アレルギー免疫療法は、
根本的な体質改善が
期待できます。

本スライドでは、スギ花粉症にお悩みの方に、舌下免疫療法についてわかりやすく解説します。

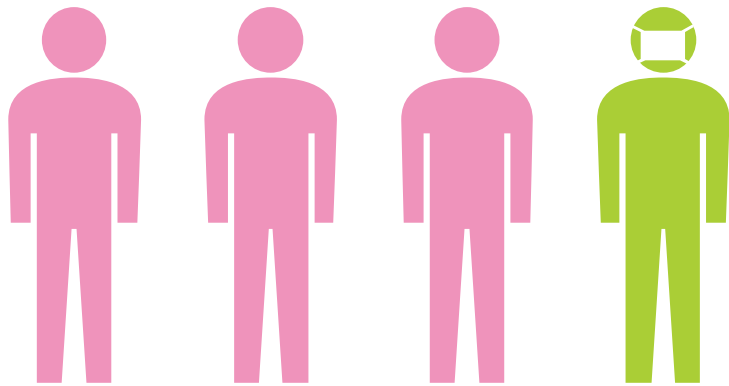
スギ花粉症とは

花粉症とは、植物の花粉が原因となって、くしゃみ、鼻水、鼻づまり、目のかゆみなどのアレルギー症状をおこす疾患です。
スギ花粉が原因（アレルゲン）となるものを、スギ花粉症といいます。



スギ花粉症の割合

アンケート調査の結果、日本人の26.5%※の人がスギ花粉症であることがわかりました。



約4人に1人が
スギ花粉症と
いえます。



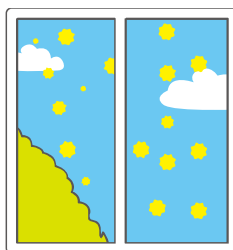
※馬場廣太郎ほか：Prog Med. 28（8）2001, 2008

スギ花粉症が及ぼす影響

スギ花粉症のつらい症状は、日常生活のさまざまな場面で影響を及ぼすことがわかっています※。



いらいら感



外出の支障



疲労



思考力の低下



睡眠障害

※鼻アレルギー診療ガイドライン作成委員会編：鼻アレルギー診療ガイドライン2016年版(改訂第8版)ライフサイエンス, 2015

代表的な花粉症原因植物の開花期

スギ花粉は、春先に飛んでスギ花粉症を引き起こします。
季節によって、スギ花粉以外の植物の花粉が花粉症を引き起こすことも知られています。

			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
樹木	スギ科	スギ	■	■	■	■	■								
	ヒノキ科	ヒノキ		■	■	■	■	■							
	カバノキ科	シラカンバ				■	■	■	■						
		ハンノキ属	■	■	■	■	■	■							
草花	イネ科	カモガヤ・ ホソムギなど				■	■	■	■	■	■	■	■	■	
	キク科	ブタクサ属								■	■	■	■		
		ヨモギ属								■	■	■	■		
	アサ科	カナムグラ								■	■	■	■		

提供：元東邦大学薬学部教授 佐橋 紀男 先生

スギ花粉症の診断

スギ花粉症は、問診と、皮膚^{ひふ}反応テストや血清^{けっせいこうたい}抗体検査などの検査結果から総合的に診断します。

問診

花粉症かその他の疾患かを判断するために、症状が出る時期や程度、花粉症以外のアレルギー歴などについて聞かれます。



スギ花粉症（アレルギー）の検査

● 皮膚反応テスト

スギ花粉に対する皮膚の反応を調べます。

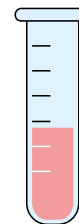


● 鼻鏡^{びきょう}検査

鼻鏡と呼ばれる道具を使って鼻の粘膜を確認します。

● 血清抗体検査

血液検査をします。スギ花粉に対する抗体の量を調べます。



● 鼻汁^{びじゅう}検査

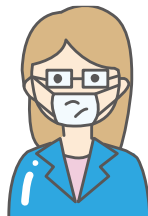
鼻水を採取し、鼻汁中の好酸球を調べます。

スギ花粉症の治療

スギ花粉症の治療では、スギ花粉を避けることが基本になりますが、必要に応じて薬物療法やアレルギー免疫療法、手術療法などを行います。

スギ花粉（アレルゲン）の除去・回避

外出時にマスクやメガネを着用する、室内や寝具などを清潔に保つなどの方法で、アレルゲンを回避します。



アレルギー免疫療法

体をアレルゲンに慣らして、症状を和らげます。根本的な体質改善が期待できます。

皮下免疫療法



舌下免疫療法



薬物療法

症状をおこす物質（ヒスタミンなど）の働きや鼻の中の炎症をおさえて、症状を和らげます。



手術療法

鼻の粘膜を固くしたり、神経を遮断して、症状を和らげます。

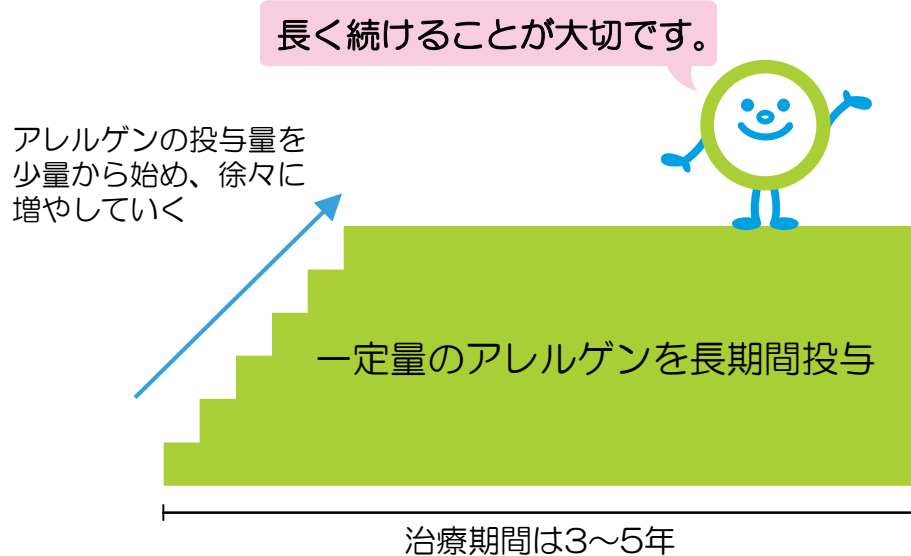
舌下免疫療法はアレルギー免疫療法に分類されます。



アレルギー免疫療法とは




アレルギー免疫療法は、アレルギーの原因であるアレルギーを少量から投与することで、体をアレルギーに慣らし、根本的な体質改善が期待できる治療法です。原因となるアレルギーを用いて行う治療法のため、原因となるアレルギーを確定する確定診断が重要です。

- アレルギー症状を治したり、長期にわたり症状をおさえる可能性のある治療法です。
完全に症状がおさえられない場合でも、症状を和らげ、アレルギー治療薬の使用量を減らすことが期待できます。
- アレルギーを投与することから局所や全身のアレルギー反応がおこるおそれがあり、まれに重篤な症状が発現するおそれがあります。
- 治療は長期間（3～5年）かかります。
正しく治療が行われると、初めてのスギ花粉飛散シーズンから症状を和らげることが期待されます。年単位で継続することで根本的な体質改善が期待できると考えられています。



アレルギー免疫療法の種類

アレルギー免疫療法には、「皮下免疫療法」や「舌下免疫療法」があります。

こんな違いがあります。 	皮下免疫療法 	舌下免疫療法 
投与方法	皮下に注射	舌下に投与
投与する場所	医療機関で、医師のもとで実施	自宅で服用 (初回投与のみ医師のもとで服用)
痛み（注射による）	あり	なし
治療に対する患者さんの理解	必要	皮下免疫療法より 詳しく必要

わが国における舌下免疫療法では、スギ花粉症とダニアレルギーによる通年性アレルギー性鼻炎が保険適応となっています。

スギ花粉症の舌下免疫療法

スギ花粉症の舌下免疫療法は、スギ花粉症と確定診断された患者さんが治療を受けることができます。

服用期間の例

1日1回、少量から服用を始め、その後決められた一定量を数年間にわたり継続して服用します。

初めての服用は、医療機関で医師の監督のもと行い、2日目からは自宅で服用します。



※少なくとも1ヵ月に1度、受診が望めます。

服用方法の例

治療薬を舌の下に置き、お薬ごとに定められた時間保持したあと、飲み込みます。

その後5分間はうがい・飲食を控えます。

スギ花粉が飛んでいない時期も含め、毎日服用します。



服用時に避けること

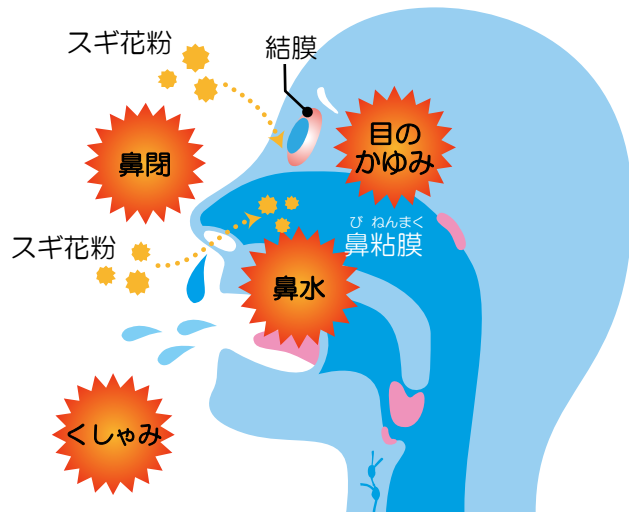
服用する前後2時間程度は、激しい運動、アルコール摂取、入浴などは避けるようにしてください。



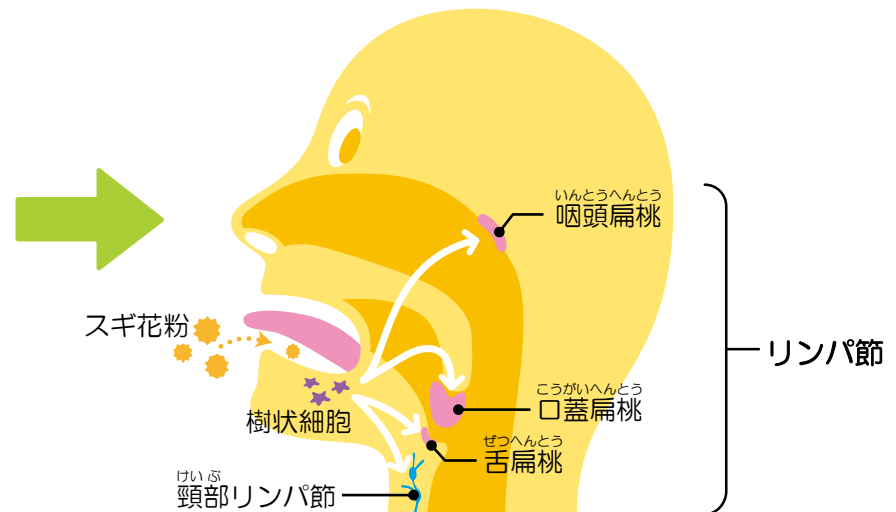
効果を発現するメカニズム

効果を発現するメカニズムは十分には解明されていません。
舌の下から入ったアレルゲン（スギ花粉）が体内で反応し、アレルギー反応を抑制する免疫反応がおこることで症状がおさえられると考えられています。

スギ花粉によるアレルギー反応



症状の抑制



よくせいけい めんえきゆうどう
抑制系の免疫誘導によって症状がおさえられる。

期待できる効果

長期にわたり、正しく治療が行われると、アレルギー症状を治したり、長期にわたり症状をおさえる効果が期待できます。

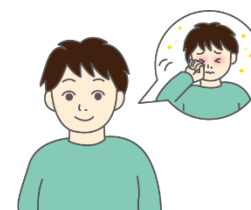
症状が完全におさえられない場合でも、症状を和らげ、アレルギー治療薬の減量が期待できます。

スギ花粉症の舌下免疫療法では、以下の効果が期待できます。

くしゃみ、鼻水、
鼻づまりの改善



涙目、目のかゆみの
改善



アレルギー
治療薬の減量



QOL(生活の質)
の改善



正しく治療が行われると、初めてのスギ花粉飛散シーズンから効果が期待され、年単位で継続することで最大の効果が得られると考えられています。

副作用

主な副作用

- 口の中の副作用
（口内炎や舌の下の腫れ^は、口の中の腫れ、かゆみ、不快感など）
- 咽喉^{いんこう}（のど）のかゆみ、刺激感、不快感
- 耳のかゆみ
- 頭痛 など



重大な副作用

- ショック
- アナフィラキシー※

※アナフィラキシー

医薬品などに対する急性の過敏反応により、医薬品投与後多くの場合30分以内で、蕁麻疹^{じんましん}などの皮膚症状や、腹痛や嘔吐^{おうと}などの消化器症状、息苦しさなどの呼吸器症状、突然のショック症状（蒼白^{そうはく}、意識の混濁^{こんたく}など）がみられる。

治療に対する正しい理解が必要です。



舌下免疫療法をご希望の方へ

その1

トリーさん、教えて！～舌下免疫療法、まめ知識～

● 舌下免疫療法と、これまでの薬物療法との違いは？

これまでのお薬は、症状をおこす物質（ヒスタミンなど）の働きや鼻の中の炎症をおさえて症状を和らげます。アレルギー免疫療法は、体をアレルギーに慣らして、症状を和らげたり、根本的な体質改善が期待できる治療法です。

● どこで治療できるの？

医師や薬剤師にご相談ください。

また、アレルギー免疫療法専門サイト「トリーさんのアレルギー免疫療法ナビ」では、スギ花粉症に対する舌下免疫療法について相談できる医療機関の情報を検索することができます。

● いつから始められるの？

スギ花粉が飛んでいる時期は、治療を新たに開始することはできません。

スギ花粉症の「アレルギー」は「スギ花粉」であり、スギ花粉が飛んでいる時期はアレルギーに対する体の反応性が過敏になっています。そのため、スギ花粉が飛んでいない時期に治療を開始します。治療開始時期については、医師とご相談ください。



トリーさん、教えて！～舌下免疫療法、まめ知識～

◆ どれくらい治療するの？

少しずつアレルゲン（スギ花粉）を投与し、体をアレルゲンに慣らすことから始め、数年にわたり継続して服用します（3年以上推奨）。そのため、定期的な受診が重要です。

◆ 効果はどれくらいであらわれるの？

正しく治療が行われると、初めてのスギ花粉飛散シーズンから効果が期待され、年単位で継続することで最大の効果が得られると考えられています。

長期間、正しく治療が行われると、アレルギー症状を治したり、治療終了後も長期にわたり症状をおさえること、または症状が完全におさえられない場合でも、症状を和らげ、アレルギー治療薬の使用量を減らすことも期待できます。

◆ 気をつけることは？

アレルゲンを投与することから、服用後にアレルギー反応がおこるおそれがあり、まれに強いアレルギー症状が発現するおそれがあります。

◆ 何歳から治療ができるの？

小児の患者さんも治療ができるようになりました。医師とご相談ください。



WEBサイトでも解説しています

舌下免疫療法（アレルギー免疫療法）について詳しく解説したホームページ

「トリーさんのアレルギー免疫療法ナビ」

もご覧ください。



<http://www.torii-alg.jp/>

スマートフォンなどの携帯電話からもご覧いただけます▶



QRコード